

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆小溝事務総長が米国及びメキシコを訪問
- ◆広島市長代理として小溝事務総長がピキニ・デー公式式典に参列
- ◆核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)年次総会でアクロン市長（平和首長会議副会長）が発言
- ◆ニカラグア7都市市長が広島を訪問
- ◆バイクフォーピース 90日間世界一周ツアー英国で出発
- ◆支援者・協力団体の活動紹介（独日平和フォーラム アイヒホルン会長）
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- オンライン署名URLが変更しました
- ◆2月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：158か国・地域 5,912自治体

\*\*\*\*\*

=====

◆小溝事務総長が米国及びメキシコを訪問

[2月5日～15日]

=====

2月5日～15日、小溝事務総長は、米国及びメキシコを訪問し、副会長都市のアクロン市とメキシコシティ市の市長及び「第2回核兵器の人的影響に関する国際会議」に出席していたノルウェー・フロン市長と面会し、リーダー都市への就任を要請しました。アクロン市長はその場でリーダー都市就任の承諾書に署名しました。

また国連軍縮部を訪問し、アンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表やランディ・ライデル国連軍縮部上級政務官と面会し、平和首長会議の取組について紹介するとともに、協力を要請しました。

更に、メキシコで開催された「第2回核兵器の人的影響に関する国際会議」に出席し（先月号で既報）、各国政府に対し核兵器廃絶に向けた取組を要請しました。また、併せて開催された核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)主催の会議に出席し、NGO関係者、核軍縮専門家、在外被爆証言者等との連携を深めました。ICAN主催の会議でも発言し、核兵器禁止条約の早期実現への取組を呼び掛けるとともに、平和な世界の構築に当たっては、多様性を尊重しつつ、同じ人類家族としての共同体意識を育んでいくことが重要であると訴えました。

メキシコでは、同国最大の自治体組織「メキシコ自治体連合(FENAMM)」及び「メキシコ自治体協議会(AALMAC)」の事務局長とそれぞれ会談し、平和首長会議と各自治体組織との連携について協議しました。

=====

◆広島市長代理として小溝事務総長がピキニ・デー公式式典に参列

[2月26日～3月3日]

=====

2月15日に、マーシャル諸島共和国のロヤック大統領が広島市を訪問した際、広島市長に対し3

月 1 日に首都マジュロ市にて開催される核犠牲者追悼記念日（通称：ビキニ・デー）公式式典への招待があり、これを受けて市長代理として小溝事務総長が同国を訪問し、式典に参列しました。これは、1954 年 3 月 1 日にビキニ環礁で米国の水爆実験が行われてから 60 周年の節目です。

小溝事務総長は 2 月 27 日、ロヤック大統領を表敬訪問して広島市長の親書を手渡すとともに、マーシャル諸島各都市の平和首長会議加盟への協力を要請しました。

式典では、4 つの環礁代表の挨拶に続き、小溝事務総長がゲストとしてスピーチを行いました。（英語原稿は下記リンク参照）

また、ビキニ環礁で被ばくした第五福竜丸乗組員のうち唯一の生存者である大石又七氏とロングラップ環礁の被ばく者との対談や、ロングラップ環礁出身の被ばく者として 2 月にメキシコで開催された「第 2 回核兵器の人的影響に関する国際会議」にも参加した国会議員の証言を含む被ばく体験証言を 2 回聴講した他、「グローバル・ヒパクシャ・プロジェクト・ワークショップ」にも参加し、参加者のマーシャル諸島、カザフスタン、広島の学生たちに向けて核兵器のない世界の実現について講演しました。

#### ▼核犠牲者追悼記念日公式式典における小溝事務総長の発言原稿

（アボリション 2000 ウェブサイト 英語）

<http://www.abolition2000.org/wp-content/uploads/2014/02/Nuclear-Victims-Remembrance-Day-speech-1-March-2014-Y.KOMIZO.pdf>

=====

#### ◆核軍縮・不拡散議員連盟 (PNND) 年次総会でアクロン市長（平和首長会議副会長）が発言 [ワシントンDC 2月27日]

=====

平和首長会議副会長である米国オハイオ州アクロン市のドナルド・プラスケリック市長は、ワシントンDCで2月26日から27日に開催された核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)年次総会において、スピーチを行いました。PNNDは議員の地球規模のネットワークとして核兵器の危険性を緩和し、拡散を防止し、安全な核兵器のない世界の実現を目指しており、平和首長会議とも連携して活動しています。

初めて米国議会議事堂で開催された会合には、PNND 会員、元議員、議員秘書、議会関係団体の代表、米国赤十字社、赤十字国際委員会、PNND の提携団体、軍縮専門家等が世界中から集まり、アンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表も参加し、核軍縮と不拡散を進め、核兵器なき世界を実現するための方策について2日間にわたり活発な議論が行われました。「各国議会相互及び選挙区を超えた協力関係の構築」と題したセッションにおいて、アクロン市長は次のように力強く述べました。

「現在、平和首長会議には 158 か国・地域にまたがる 5,895 の都市が加盟し、ロシアと米国、イスラエルとパレスチナ、インドとパキスタンの双方の都市が加盟しています。更に注目すべきこととしては、最近の加盟都市数の増加が顕著な国がイランであることです。国家間が困難な関係にあるときも、市長たちは平和への一番の希望となりうるのです。」

#### ▼PNND 年次総会におけるアクロン市長の発言の様子（英語ビデオ）

[https://www.youtube.com/watch?v=PogncGyS1K8&feature=em-upload\\_owner](https://www.youtube.com/watch?v=PogncGyS1K8&feature=em-upload_owner)

=====

#### ◆ニカラグア7都市市長が広島を訪問

=====

2月21日、ニカラグアのソモト市、レオン市、マナグア市、グラナダ市、マタガルパ市、サンカルロス市、ブルーフィールド市の7都市の市長・副市長を含むJICAの「地方自治体行政強化（参加型地域開発）」研修参加者一行が、平和首長会議会長である松井広島市長を訪問し、続いて小溝事務総長から平和首長会議

についてのブリーフィングを受けました。

ニカラグアは、全 155 自治体が平和首長会議に加盟している唯一の国です。

小溝事務総長は、平和首長会議の活動について説明し、2 月中旬にメキシコで開催された第 2 回核兵器の  
人道的影響に関する国際会議での様子や自らの発言内容について紹介するとともに、現在、平和首長会議で  
はリーダー都市を選任しており、ニカラグアにおいてもリーダー都市の選任を進めたいと述べました。

=====

### ◆バイクフォーピース 90 日間世界一周ツアー英国で出発

=====

ノルウェーの団体バイクフォーピースは、1978 年以来サイクリングを通して分断された地域を結  
んできました。2014 年のツアーは平和首長会議の取組への協力を掲げ、3 月 15 日にマンチェスター  
市から開始しました。バイクフォーピース代表団には、ノルウェーのボンデヴィック元首相、9 人の  
ノルウェーの市長が名を連ねており、マンチェスター市長と面会したほか、地元のサイクリンググル  
ープとともに出発の行事を開催しました。次にコベントリー市まで自転車で移動し、コベントリー市  
長、地元ロータリークラブ及びコベントリー・ピース・ハウスを訪問します。更にロンドンでは、ロ  
ンドン広域市及び英国議会関係者との特別行事が予定されています。英国を出発した後、ツアーはフ  
ランス、イタリア、中国、日本（広島を含む）、米国を経て、ノルウェーのオスロ市で終了します。

ツアーは 4 月 7 日にローマを訪れ、平和首長会議副会長であるフロン市長を含む 4 人の代表が、4  
月 9 日の一般謁見の後、ローマ法王と面会する予定です。

=====

### ◆支援者・協力団体の活動紹介

=====

このコーナーでは、平和首長会議の取組に協力してくださる団体や個人の活動を随時紹介します。

#### ■独日平和フォーラム アイヒホルン会長

2 月 24 日～3 月 3 日、「独日平和フォーラム」が広島で研修を実施し、平和に関する各種講義、被爆体  
験証言の聴講や平和記念資料館の見学等を通して、被爆の実相を学びました。2 月 26 日、参加者一行が平  
和首長会議会長である松井広島市長を訪問し、アイヒホルン会長は平和首長会議について、加盟都市数が  
6000 近くに達したことは大きな成功だと語り、独日平和フォーラムが拠点とするベルリン及び近郊の加盟  
都市の活動の活性化に向けて支援したいとの意向を示しました。

「独日平和フォーラム」は、2004 年からベルリン・ポイト工科大学教授であり、同大学において「広島・  
長崎講座」を開設しているアイヒホルン会長が企画したプログラムであり、元々は、日本に滞在している  
ドイツ人良心的兵役拒否者に課せられる社会奉仕活動の中の研修でしたが、2011 年からの兵役廃止に伴い、  
現在は自主的に日本に約 1 年滞在して社会奉仕活動を行っている若者への研修となっています。2008 年  
から毎年広島で開催されており、今年が 7 回目です。

=====

### ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では加盟都市が 5000 を突破したことを記念し、2012 年 5 月のオーストリア・ウィーン市  
での開催を皮切りに、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んできましたが、  
昨年 8 月に開催された第 8 回平和市長会議総会の決定事項を受けてポスターを一部リニューアルしました。  
全 18 枚のうち、15 ページ、16 ページの内容が更新されています。日本語版、英語版に加え、先月、フラ  
ンス語、スペイン語、カタロニア語、ドイツ語、オランダ語、ロシア語の各国語のリニューアル版が完成  
しました。引き続き、リニューアルしたポスター展の開催にご協力ください。

ポスター展は現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード  
市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250 を超える自治体が開催しています。

2 月には、長野市が「長野市民平和のつどい」でポスター展を実施したほか、協力団体の日本生活協同

組合連合会が東京都千代田区でポスター展を実施しました。協力団体においても、愛知県原水爆被災者の会（愛友会）が昨年12月、（一財）山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑が昨年7月から9月にかけてポスター展を実施するなど積極的に協力していただいています。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

## ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

### —オンライン署名URLが変更しました

=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011年11月の理事会及び2012年1月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第8回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2014年3月1日現在、889,788筆の署名が集まっています。

全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名（新URL）\*サーバー移行に伴い、URLが変更になりました。

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

## ◆2月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、2月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組および加盟要請への協力をお願いしました。

\*2月4日（火） オマール・ザヒルワル アフガニスタン財務大臣

\*2月11日（火） パディ・バーク アイルランド上院議長

\*2月12日（水） セルゲイ・ラフマノフ 駐日ベラルーシ共和国大使

\*2月15日（土） クリストファー・ロヤック マーシャル諸島大統領

\*2月24日（月） マルコ・ロンバルディ 在大阪イタリア総領事

\*2月26日（水） 独日平和フォーラム参加者一行

▼関連情報：広島市/日々の動静—2014年2月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1391415730018/index.html>

=====

## ◆平和首長会議加盟自治体数：158か国・地域 5,912自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月19都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は3月1日現在で5,912自治体（158か国・地域）となりました。

日本国内では、東京都昭島市など新たに11自治体が加盟し、国内の加盟自治体数は1,410自治体となりました。特に、今月は長野県から9自治体の加盟がありました。

海外については、オランダから2都市、チェコ、フランス、イタリア、イギリス、アメリカ、ウルグア

イからそれぞれ1都市が新たに加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼3月1日付新規加盟自治体一覧

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2014/newmembers1403\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2014/newmembers1403_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\* 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、

連絡先変更等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp